

05/1/29 (A)

討論上

原子力の是非をめぐる論議が沸騰している。原発反対の声がかつてなく高まっている一方で、政立場の異なる一人にインタビューし、それぞれの内容を二週続けて掲載する所になった。先に登場したのは反原発運動の情報拠点となっている原子力資料情報室代表の高木仁三郎さん(左)。高木さんは「日本も原子力抜きでやつていけます」と語り、大量消費型文明から転換していく必要性を強調した。

聞き手 清水洋一・科学部長

——まず、最近の反原発運動について。
高木さん これだけ運動が広がった要素は、やはりチエルノブリ原発事故による食品汚染でしょうね。例えば食品の産直運動などでのつながりが多いです。

——政府や原子力産業界は、まさに反原発は誤った情報なうなどころで考へざるを得ないところ。その点が間違っているから、原発抜きでも停電する状況は

——つまり、反原発という考え方がある問題ではない。全体として脱原発、反原発という考え方がある問題ではない。そこには、生協運動とか、反原発運動とか、あるいは反原発運動の側にも部分的に間違いや誇張があり得るでしょうが、それは本質的な問題ではない。

——高木さん やつていてます。少なくとも、いままでの分析ではそうなる。我々の分析ではそう言えます。さらに夏の電力消

——日本の電力消費を見る限り、その点が間違っているから、原発抜きでも停電する状況は

——電力を供給するには、一定の供給予備率を持つて電力をまかねらねばならぬ。ですから長い期間ではない

——現実に可能ですか。

——計画中、建設中の原発か。

——高木さん 可能だと思いま

——全部やめるという主張ですか。

——私はいま、脱原発法という法

原子力資料情報室代表 高木仁三郎さん



撮影・渡部 聰

高木 仁三郎氏 (たかぎ じんざぶろう) 1938年福井市生まれ。東大理学部化学科卒。日本原子力事業勤務を経て、65年東大原子核研究所助手。69年都立大助教授。73年都立大を退職。現在 原子力資料情報室代表。著書は「アルトニウムの恐怖」(岩波新書)、「いま自然をどうみるか」(白水社)、「原発事故」(日本では「岩波ブックレット」)、「 Chernobyl」(チャーノブイリ)、最後の警告(七つ森書館)など。

名運動を始めたところです。こういうかたちで、原子力は本当に必要なのか、日本のエネルギーはどうしたらいいのか、環境を守っていくために

えたわけです。法案の趣旨は

一番いい産業のあり方、暮らしのあり方は?といった議論

を国会内に提起したい、と考

えたわけです。法案の趣旨は

原発計画はただちにやめ、既存の原発も一定期間内に全

部廃止しろというもので

その期間は、核燃料の抜き取

りとか廃棄物とか技術的検討

原発いまとやめどき

——これまでの反原発運動は、まさに反原発運動の側にも部分的に間違いや誇張があり得るでしょうが、それは本質的な問題ではない。

——清水洋一さん、その考え方をおかしい。反原発の側にも部分的に間違いや誇張があり得るでしょうが、それは本質的な問題ではない。

——清水洋一さん、その考え方をおかしい。反原発の側にも部分的に間違いや誇張があり得るでしょうが、それは本質的な問題ではない。

——清水洋一さん、その考え方をおかしい。反原発の側にも部分的に間違いや誇張があり得るでしょうが、それは本質的な問題ではない。

——清水洋一さん、その考え方をおかしい。反原発の側にも部分的に間違いや誇張があり得るでしょうが、それは本質的な問題ではない。

——清水洋一さん、その考え方をおかしい。反原発の側にも部分的に間違いや誇張があり得るでしょうが、それは本質的な問題ではない。

——清水洋一さん、その考え方をおかしい。反原発の側にも部分的に間違いや誇張があり得るでしょうが、それは本質的な問題ではない。

——清水洋一さん、その考え方をおかしい。反原発の側にも部分的に間違いや誇張があり得るでしょうが、それは本質的な問題ではない。

マイナスのはね返りは一時には覚悟しなくちゃいけない。それでも原発廢止によつて得られる安心の方がはるかに大きいし、長い目で見れば

なくても大丈夫

大量消費文明の転換を

かるとは思いません。

—— 最近は二酸化炭素の温室内効果による地球温暖化が重大視され、その中で原子力は二酸化炭素や亜硫酸ガスを出さないからむしろクリーンだとも言われていますが……。

高木さん これには放射性廃棄物を出してなにがクリーンだ、と言いたくなりますが、温室内効果の問題に絞ってみて原発による効果はあまり期待できない。なぜなら温室内効果はフロン、メタンなど他のガスにもあって、二酸化炭素の寄与率は数十分位。しかも、二酸化炭素は火力発電所だけが出しているわけではない。自動車はじめ、化石燃料を使あらゆるところに出しています。

3面に続く



新日本日曜

1面から続く

—— 反原発の理由は?

高木さん 第一に大事故の可能性が消し切れないこと。日本はチエルノブリと炉型が違うとか、運転管理がしっかりしているとか言いますけど、そういう言い方は信用で

事故と呼んでいる、ある一つのものが引き金になって次々にいろんなことが起こってしまって、というような現象は、い

ままでの技術では防ぎにくい。だく可能性があるような部分が

から事故の可能性を我々が安増えたということです。それ

心できるほどに小さくは、とから、ニストの面でもひとこ

てもできない。それからチエロニブリの事故の十倍ぐら

合関係がきびしい。したがつ

るといふことによって事故が起

るといふことが多くの例で見られます。特に僕が将棋倒し

でしょ。その背景には老朽化

部を置き換えるのは出力調整

その他の問題があつてどうして

い無理で、顕著な効果は期待

できない。そのうえ、原発を

のものも建設にかなりの資源

を投じたり、森をつぶしたり

して二酸化炭素を増やしてい

る。結局、原発はエネルギー

消費奨励型の大手技術システ

ムであつて、それを増やして

いくことは全体としていまの

環境危機を救う方向では絶対

ない。逆方回だと思いま

す。

いまや火力の代わりに原子力

果ははん、メタンなど他の

ガスにもあって、二酸化炭素

の寄与率は数十分位。しかも、

二酸化炭素は火力発電所だけ

が出ていているわけではない。

省エネルギー資源再利用を

換を考えていく、もっと別の

ところに価値を見いだして、

て高稼働率で、無理な運転を

しないければならない。原発を

どう思いますか。

—— 原子力行政については

比重を占める社会において

そのものが世界でたった

とりまく安全条件は明らかに

きない。どの国でも事故が

起きるその日の朝までは、自

分の国では起こらないと思つ

ている。そういう建前でやつ

てますからね。人間のつくつ

きびしい運転管理などでは不

いと思います。

高木さん 十分な保証では

画を六つほどこりやめてい

推進のスタンスでやっている

絡むことによって事故が起

るといふですね。日本の

原発も最近トラブルが多い

なくては、とのアルミニウム

核燃料サイクル基地に

て、科学技術庁長官が「

転の決意で進める」と言

ります。あれは電気事業

会がやついて、政府は監

督する立場なのにね。だから

脱原発は緊急の課題です。

—— 事故のほかには?

高木さん 廃棄物が大きな

問題ですね。基本的に、捨

てられないゴミをつくり出し

データを公表したり、安

全であります。それで、

その他をチェックする仕組

も非常に苦労している。

政府の暴走に歯止め

「脱原発」
制定運動

■ 高木仁三郎さんに聞く ◉

いの事故は起つて得ることを考へると、非常に恐ろしい。そういうことが世界でたった

起きない。どの国でも事故が起きるその日の朝までは、自分がやつて耐えられ

—— 原子力行政については、そのうちのどこまで耐えられ

て高稼働率で、無理な運転を

しないければならない。原発をどう思いますか。

—— 原子力行政については、

比重を占める社会において

そのものが世界でたった

とりまく安全条件は明らかに

きない。どの国でも事故が

起きるその日の朝までは、自

分の国では起こらないと思つ

ている。そういう建前でやつ

てますからね。人間のつくつ

きびしい運転管理などでは不

いと思います。

高木さん 十分な保証では

画を六つほどこりやめてい

推進のスタンスでやっている

絡むことによって事故が起

るといふですね。日本の

原発も最近トラブルが多い

なくては、とのアルミニウム

核燃料サイクル基地に

て、科学技術庁長官が「

転の決意で進める」と言

ります。あれは電気事業

会がやついて、政府は監

督する立場なのにね。だから

脱原発は緊急の課題です。

—— 事故のほかには?

高木さん 廃棄物が大きな

問題ですね。基本的に、捨

てられないゴミをつくり出し

データを公表したり、安

全であります。それで、

その他をチェックする仕組

も非常に苦労している。